

みんなのひろば

ここはみなさんが主役のひろばです。
身近な話題をどんどんお寄せください。

■役場総務課 TEL42-1613



▲活動に参加したみなさん

子どもたちの
笑顔のために

10/7
商工会青年部
美化活動

商工会青年部(大井利裕部長)による地域美化活動が草野幼稚園、飯樋幼稚園で行われました。(社)原町青年会議所の協力を得て、草野幼稚園では藤だなの補強、飯樋幼稚園では、トンネル遊具整備や留めマスの清掃を行い、園内の環境美化と安全確保に努めました。

作業を終えた大井部長は、「今後子どもたちに喜んでもらえるような活動をしていきたい」と話していました。

親子で稲刈りの楽しさを

10/12

なないろの空で 「親子里山体験」

自然食レストラン&カフェ「なないろの空」(村上真平さん・克枝さん(前田))は、親子が自然と触れ合い農業に親しめる「親子里山体験講座」を行いました。

この日、実った稲を収穫しようと、仙台、新潟などから参加した家族らは「慣れない作業で最初は大変だったけれど、充実した時間を過ごせました」と笑顔で、稲刈り体験やハセ掛けに汗を流しました。

また、12月には、収穫した新米を使った「もちつき体験」や「天然酵母の石がまパン焼き体験」を行うとのことです。(お問合わせ…なないろの空 ☎ 42-0337)



▲手刈りを体験する参加者ら



▲全力を尽くした飯舘村チーム

力を尽くした
飯舘村チーム

10/4
第2回市町村対抗
県軟式野球大会

9月27日に福島市のあづま球場で第2回市町村対抗県軟式野球大会開幕し、飯舘村チームの初戦が10月4日に行われました。

この日、飯舘村チームは、南会津町と対戦し、熱戦を繰り広げました。試合は、2対3と惜しくも敗れたものの、選手たちはそれぞれ全力を尽くし、大いに健闘していました。

16年ぶりに大活躍!

10/26

白石の「石臼」で餅つき



▲16年間地区を見守ってきた石臼が大活躍

白石地区は、県道原町川俣線に設置されている行政区のシンボルの「石臼」で16年ぶりに餅つきを行ない、住民らに紅白の餅が振舞われました。これは、白石行政区東班(林正好班長)が主催で、地区の交流を深めようと、秋まつりに合わせて実施されたものです。平成2年当時、村が各

行政区の「地域づくり」を支援した「やまびこ運動」の際、「誇りをもてるシンボルを作ろう」「地名の由来を子どもたちに広めよう」と、この大きな石臼が1年がかりで制作されました。その後、平成4年2月に行われた設置除幕式で餅つきが行なわれて以来のイベントに、地区住民は、石臼を作った頃の思い出を振り返りながら交流を深めていました。また、「ふだん通行していても石臼は飾りだと思っていた」「餅つきが見たくてわざわざ駆けつけました」と話す住民もあり、県道を通るドライバーも近くに停車し、興味深そうに餅つき風景を眺めていました。



この曲知ってるよ!

10/5

自衛隊東北方面音楽隊による音楽鑑賞会

村教育委員会は、優れた演奏に触れてほしいと、飯館中学校体育館で、自衛隊東北方面音楽隊による音楽鑑賞会を開催し、小・中学生や村民ら約630人が、目の前で奏でられる音楽に耳を傾けました。

作曲の歌劇「ウイリアム・テル」序曲より「スイス軍の行進」やM. クライク作曲「スパニッシュ・ホルンズ」のほか、映画やアニメのテーマ曲、大人にはなつかしい青春のメドレー曲などが披露されました。



▲子どもたちの席で演奏する場面も

この日は、ロッシーニの曲が多くて面白かった」「床に音がドーンと響いてきてすごかった」などと感想を述べ、迫力ある演奏を楽しんでいました。また、アンコールのリクエスト曲を、演奏に合わせて全員で大合唱。体育館内には元気な声が響いていました。

ごみ処分はマナーを守って 不法投棄ごみ撤去活動を実施

10/5



▲散乱したペットボトルなど家庭系ごみを拾う参加者ら

村環境衛生推進委員会(木幡保雄会長)は、県の地域ぐるみ監視体制づくり支援事業として、村内に不法投棄されているごみの撤去活動を実施しました。

この日は、早朝から行政区ごとにごみ拾いを行ない、家庭系ごみ約3.5ト、古タイヤ約500本を回収しました。また特に不法投棄ごみが多い宮内地区の県道草野大倉鹿島線沿い斜面で村環境衛生推進委員、村職員、県職員など21人が作業を行ない、不法投棄されていた家庭系ごみ約2.2トの撤去を行ないました。

村では、「不法投棄は罰せられる行為です。正しいごみの処分を心がけてください」とマナーの向上を呼びかけています。



▲山つるオブジェを作る参加者

10/4

自然とのふれあいを JUNIARリーダー パワーアップ研修

ジュニアリーダーが、あいの沢遊々の森で、山つるの採取を行ない、自分で採取した山つるを使ってオブジェの制作等の研修を行ないました。

また、ロープの結び方や自然の地形を生かしたロープレクなどを楽しんだ参加者は、自然に親しむ心の豊かさをそれぞれ学んでいました。

「パパかっこいいね!」

10/5

村消防団秋季検閲式



▲消防パレードを拍手で迎えられる子どもたち

秋季検閲式は、スポーツ公園陸上競技場で行われ、消防団員や女性消防隊員など約200人が参加しました。

今回、初めて村内の小・中学生が検閲式を見学。式に先立って行なわれた消防車両のパレードを、競技場周辺の道路脇に並んだ子どもたちが大きな拍手で迎えました。

検閲式では、荒団長と菅野村長のあいさつに続き、通常点検と分列行進が行われ、団員らは、予防活動への決意を新たにしています。



▲菅野村長らの検閲を受ける消防団員

子どもたちは、「パパの(消防団の)制服姿はかっこいい」「ぼくも消防団員になりたい」などと自分の父親らの消防団員としてのきびきびとした姿に、防火や予防の大切さを感じていました。



▲検閲式を見学する子どもたち

身知的 障がい者相談員にご相談下さい

村には、県から障がい者相談員として委託を受けている方がいます。障がい者相談員は、障がいのある方やその家族からのさまざまな相談に応じています。ご相談をしたい方は、相談員へご連絡ください。

- 障がい者相談員**
(平成22年3月31日まで任期)
- 身体障がい者相談員
石井 せんさん (白石 ☎42-0153)
 - 知的障がい者相談員
嘉藤 京子さん (白石 ☎42-0925)



誕生おめでとう

赤ちゃんのなまえ	親の氏名	行政区
末永 紗希ちゃん	英之・直子	深谷
菅野 結依ちゃん	辰也・実香	関沢
渡邊 大和くん	春樹・梢	小宮
遠藤 陸くん	達哉・梢	飯樋町

すくすくと元気に育ってね

結婚おめでとう

氏名	行政区
北山 文信	飯樋町
佐藤 智美	宮内
山田 豊	関根・松塚
五百川 あゆみ	福島市

いつまでもお幸せに

おくやみ

氏名	年齢	行政区
古川 公子	79	飯樋町
佐藤 ヨシイ	89	関根・松塚
佐藤 正勝	64	前田・八和木
佐藤 ミツ子	80	伊丹沢(前田)
小山 豊子	76	草野
村山 留治	80	草野
大谷 邦子	76	小宮
森永 ワサ	99	前田・八和木
松井 岩男	78	上飯樋
巻野 時江	67	伊丹沢

ご冥福をお祈り申し上げます

(9月21日から10月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

ひとのうごき

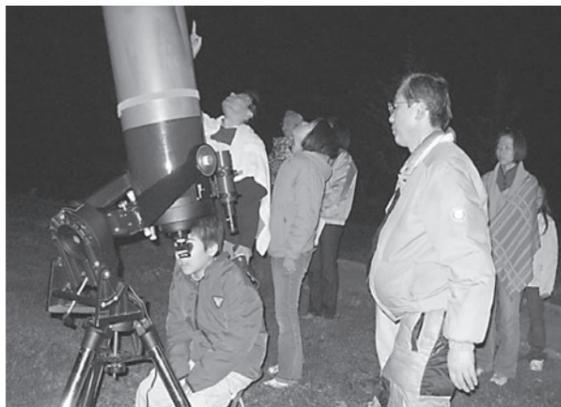
(平成20年10月1日現在)

人口	今月(前月比)	昨年同期
男	3134人 (-3人)	3196人
女	3145人 (-4人)	3244人
計	6279人 (-7人)	6440人
世帯数	1700戸 (-1戸)	1725戸

◆◆◆9月1日～30日までの人口動態◆◆◆			
転入	14人	転出	9人
出生	1人	死亡	13人

(平成17年国勢調査に基づき増減された現住人口)

10/12 第2回 親子星空観察会



▲澄んだ星空を楽しむ参加者ら

村教育員会主催による「第2回親子星空観察会」が、村民の森「あいの沢」で開催され、村内外から27人が参加しました。

福島天文同好会事務局長の佐藤光さん(福島市)が8月に引き続き、講師を務めました。この日は、澄んだ空気に美しい星空が広がり、参加者らは望遠鏡を使って秋の星座を観察したり、芝生に寝転がって村の夜空に輝く星を眺めたりしていました。

自分の星を見つけよう

☆スターウオッチング☆



▲「こんなにたくさん実がなるとは…」と驚きの古川さん



▲まるで子だくさん(?)なアケビの実

たわわに実ったアケビの実

10/6 古川さんが大収穫

古川邦男さん(飯樋町)の畑に植えてあるアケビに、たくさんの実がなりました。このアケビは、桑の木に巻き付

いたもので、一カ所に20個以上の実がついています。古川さんは「こんなにたくさん実がなるとは驚きです。アケビが初めて見た」とのことです。話を聞いて訪れた近所の方たちも珍しいものに見入っていました。

飯館ライオンズクラブ30周年記念事業

「心ませ地蔵」に込めるふるさとへの愛



▲役場前庭に設置された「心ませ地蔵」

飯館ライオンズクラブが、結成30周年を記念して、役場前の村民歌碑の前に「心ませ地蔵」を寄贈しました。同クラブの菅野一広会長は「村には、私たちが愛してやまない、とてもすばらしい村民歌があります。村民歌が流れるし、かけを施した「心ませ地蔵」を置くことで、村

を愛し、村を興していこうという心優しい人材の育成につながればという熱い思いで設置しました」とふるさとへの愛を話していました。役場へ訪れる方や子ども達にも、お地蔵さん大好評。お地蔵さんの笑顔が映ったかのような優しい笑顔で、村民歌を口ずさむ姿も見られます。

こころのぽけっと

日本一の村民歌

飯館ライオンズクラブが、結成30周年を迎えたそうです。当時、全国約700の村と名のつくところで同クラブ結成は日本初だったとか。その30周年記念に、役場前に「心ませ地蔵」を設置していただきました。

お地蔵さんの前には、いつのまにかおさい銭があがっています。わが村には「お地蔵さんにおさい銭を…」と思ってくださる心温かい方々が、まだたくさんいるのだなと胸を熱くしました。まさに心が和んでしまいますね。

そして、このお地蔵さん、ただのお地蔵さんではありません。以前、村民から寄付をいただいた村民歌碑の前に設置されていますが、お地蔵さんの頭をなでると、村民歌が流れます。

歌声は、これまた30周年を迎えたママさんコーラスをバックに、村の小学生た

ちが元気に歌っているのです。改めて、流れる村民歌を聞き、何とも言えないほどの村への愛着と希望、そして頑張っていこうという強い決意がわき出てくる、すばらしい歌なのだと思いを強くしました。

「山 美わしく 水 清らかな その名も飯館 わがふるさとよ」からはじまる1番歌詞。2番は「土よく肥えて人情けある その名も飯館 わがふるさとよ」。わがふるさとをの良さをすべて表現している歌詞ではないでしょうか。「みどりの林に 小鳥は歌い」「実りの稲田に 陽は照りはえて」。もう飯館村そのものの情景です。しめくくりは「ああわれら今こそ手と手 固くつなげて 村を興さん」「ああわれら 夢大らかに ともに励みて 村を富まさん」。

県歌や市町村歌は数限りなくありますが、この村民歌以上のものはないだろうと私は思っています。

私たちは、この村民歌の歌詞の内容と「心ませ」をしつかりと実行し、次世代に引き継いでいく責任があるのではないかと改めて感じたところです。

平成20年10月24日

飯館村長 菅野 典雄